

『SSH 科学技術体験セミナー』を開催しました

7月24日(月)13時15分より、東北大学・日本原子力文化財団・六ヶ所げんねん企画の共催によるSSH科学技術体験セミナーを、東北大学大学院工学科 量子エネルギー工学専攻 助教 藤原充啓 氏を講師として開催いたしました。今回のSSH科学技術体験セミナーには、1年生23名、2年生11名、計34名が参加しました。

内容としては、まず「放射線の基礎知識に係る講義」があり、自然界にある放射線や原子力発電についての理解や深めているようでした。また、人体への放射線の影響については、放射線がDNAを切断等することでガン化を引き起こす仕組みを知り、放射線を慎重に扱わなければならないことを生徒は再認識したようでした。

「桐箱実験」の実習では、ドライアイスで冷やした桐箱に突然生じる飛跡を、興味深く観察していました。また「放射線測定」の実習では、線源を机の中心におき、放射線測定器(「アルファちゃん」「ベータちゃん」)を用いての測定でしたが、様々な金属による放射線遮蔽効果の計測実習では、鉄より鉛の遮蔽効果がやはり高いことを実感できたようでした。

原子力施設を少なからず持っている本県において、生徒が放射線に係る知識や放射線測定体験を持つことは、本県の原子力に係る未来を考える上で重要な礎となるとともに、正しい判断をするために欠いてはならない素養であると感じています。無用に怖がらず、理性と知識でもって、自身の考えを持って欲しいと思います。

○活動の様子

